

令和6年度行田市立埼玉中学校グランドデザイン



<学校教育目標>

思いやりのある生徒 自主的に学ぶ生徒 体を鍛える生徒

<目指す学校像>

「笑顔あふれる学校」

～ウェルビーイングな組織づくり～

校訓 本気でやれば 何でもできる

目指す生徒像

- 広い視野をもった生徒・深く考える生徒・豊かな心をもった生徒
- たくましい体力をもった生徒・強い精神力をもった生徒・変化に対応できる生徒
- ふるさとを愛する生徒・ふるさとを語れる生徒・ふるさとで協調して活躍できる生徒

経営の重点

- 生徒の自主的・実践的な態度の育成
- 熱意をもった全員参画の学校運営
- チームワークに基づいた組織の構築
- 情報共有、共通理解と共通行動
- 先を見通し、常に先手の対応

目指す教師像

- 元気で、明るく、爽やかな教師
- 教師自らが「学而不厭」
- 褒め、認め、励まし、伸ばす教師
- 教育公務員としての自覚と誇りをもつ教師
- 保護者や地域の願いに応える教師

**<校内研修 研究主題> 確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成
～「誰一人取り残さない学び」の実現を目指して～**

社会に開かれた学校の推進（家庭・地域との連携）

- PTA活動、学校運営協議会、民生委員連絡会等との連携の強化
- 保育園、公民館、関係機関との連携と地域行事への積極的な参加
- 保護者懇談会、ホームページ、学校だよりを活用した丁寧な説明

学力向上（学ぶ力の育成）

- 自ら学ぶ意欲を育む ～「学而不厭」～
 - ・学習規律の確立と、望ましい学級集団の育成
 - ・将来の生き方を考え、志を立てる進路指導・キャリア教育の推進
- 基礎的・基本的な学力を育む
 - ・繰り返しによる基礎的・基本的な内容の確実な定着
 - ・保護者との連携による家庭学習の定着と充実
- 知識や技能を活用する力を育む
 - ・「書く力・対話的な学び・称賛の声・問いの工夫」、自己肯定感や伸びを実感できる学習の創造、埼玉学力向上5箇条の推進
 - ・さきたまスタンダードによる学習過程の定着（小中連携）
 - ・学びのDX（「ICTの活用」：文房具の一つとして生徒が使う）

豊かな人間性の育成と

郷土を愛する心の醸成

- 道徳的心情と実践力を育む
 - ・心に響く道徳の時間と彩のある特別活動の充実
 - ・異校種との交流活動の推進（埼玉小学校・行田特別支援学校）
- 自律する力を育む
 - ・生徒会による啓発活動の推進（ネットルール、いじめ撲滅宣言等）
- ふるさと埼玉（さきたま）を愛する心の醸成
 - ・埼玉の教育資源（人的・物的資源）を生かした教育活動の充実
 - ・「温故創生」ふるさと埼玉のよさを実感し、発信する力の育成

健やかな心と体の育成

- 基本的生活習慣の確立を図る
 - ・基本的生活習慣の確立（挨拶・返事・靴そろえ・立腰）
 - ・教育相談体制の強化（相談しやすい環境の構築）
- 進んで運動に励む態度を育む
 - ・生徒の手でつくる体育的行事の推進
 - ・目標を明確にし、その実現に向けた積極的な部活動の推進
- 自ら健康づくりに取り組む態度を育む
 - ・「自らの命は自分で守る」健康安全教育の充実（コロナ感染防止・災害対応・薬物乱用防止・ネットトラブル防止・交通安全等）
 - ・保護者、地域、教師が共に活動する学校保健委員会の充実
 - ・学校食育の充実